

1 養成課程（2年制）との共通受講可能な科目

	科目名	時間数	学年	講師	ねらい	内容	教科書	備考
1	野菜栽培各論Ⅰ	30	1年	農大職員	県内野菜産地の概要、イチゴを中心として施設野菜の基礎的技術を学ぶ。	県内野菜産地の概要。野菜産地の歴史・生産状況・特徴。イチゴの生理生態と栽培技術		
2	野菜栽培各論Ⅱ	30	1年	農大職員	野菜の生理生態・作型・品種ICT技術を含む栽培技術を学ぶ	キャベツを中心とした秋冬野菜の生理生態・作型・品種・栽培技術。施設栽培における複合環境制御技術の基本と必要性。特にトマトやイチゴの炭酸ガス施用効果等について。		
3	野菜栽培各論Ⅲ	15	1年	専門技術員	県内の野菜産地の概要及び先進地の栽培技術を学ぶ。	県内産地の概要。野菜産地の歴史・生産状況・特徴栽培技術・経営		
4	病虫害Ⅰ（病害）	15	2年	農技センター職員	病害の発生活消長や生態、防除法を学ぶほか実習等を通じて病原菌について学ぶ。	病害発生仕組みと防除。抵抗性品種の利用。作物と害虫の組み合わせ。総合有害生物管理の考え方		
5	病虫害Ⅱ（虫害）	15	2年	農技センター職員	害虫の発生活消長や生態、防除法を学ぶ	昆虫の基礎知識。害虫発生仕組みと被害。害虫の防除法。総合的有害生物管理の考え方。		
6	農薬概論	15	1年	外部講師 （元県職員）	農薬の基礎知識・詳細について学ぶ。	農薬とは。農薬の種類。農薬の作用機作。農薬の安全性。登録制度。農薬の残留基準。環境への影響。		
7	鳥獣害対策	15	2年	森林動物センター職員	鳥獣害の現状、被害の特徴、対策を学ぶ	県下の鳥獣害の現状。シカ、イノシシ、サル、クマ、アライグマ、ヌートリアハクビシン他の被害対策		
8	農業機械Ⅰ	15	1年	農技センター職員	農業機械の基礎と構造についての知識の習得	農業と農業機械。トラクタの構造と操作。原動機の構造と整備。耕耘整地用機械の構造と利用		後期
9	農業機械Ⅱ	15	2年	外部講師 （元県職員）	農業機械の整備・利用に必要な発展的な知識を習得	稲作用機械等各種作業機の構造と利用。農業機械の利用と機械化体系		前期
10	環境創造型農業	15	2年	農大職員	環境を守り、食の安全を支える環境に優しい農業について習得する。	環境創造型農業の内容と目的。県の推進施策。有機JAS及び「ひょうご安心ブランド」等の取組事例。推進場の課題と今後の推進方策。有機農業と観光農業。		
11	農業経営	15	1年	農大教員	農業経営の基礎理論と日本農業の現状について理解を深める。	農業の動向と農業経営。農業経営の組織と運営。農業経営の会計。農業経営の診断と設計。農業経営と情報。		
12	農業簿記	15	1年	専門技術員	事例を元に経営開始から決算書作成までの理解を深める。	各種帳簿を用いた複式農業簿記。コンピューターを用いた複式農業簿記の実践。		
	小計	210						

2 オリジナル科目

(1) 講義

	科目名	時間数	区分	講師(案)	ねらい(案)	内容(案)	教科書
1	有機農業概論	60	新	外部講師	有機農業の歴史や種類等を客観的知識として学び、有機農業への理解を深める。		
2	土壌肥料	30	(1年)有機版に拡充	外部講師	有機農業の基本技術である土づくりや肥培管理等の知識を学ぶ。		
3	植物生理	30	(1年)有機版に拡充	外部講師	植物生理の知識を深める。		
4	流通各論(有機農産物)	15	新	外部講師	現在の有機農産物の流通について、講義を通じて理解を深める。		
5	生産工程管理(GAP)+有機JAS	15	新	外部講師	生産工程管理の考え方、実施手法を通じ、農産物の安全管理、生産の効率化の重要性を学ぶ。		
6	販売・マーケティング	30	有機版で実施	外部講師	1年次の6次産業化論と本科目を通じて得た知識を各専攻現場においてケーススタディとして実践する。		
7	先進事例講義	15	有機版で実施	農業士 [*] かつ有機JAS取得者	県内外の優れた有機農業経営の事例を講義を通じて学ぶ。		
8	地域農業校外学習	30	有機版で実施	県内外の先進事例視察等	県内外の有機農業経営の実態を現地視察等を通じて学ぶ。		
9	農業基礎・実技演習	30	(1年)有機版に圧縮	外部講師	小農具の取扱や手入れ、ロープワーク等農業に必要な技術を演習を通じて学ぶ。		
	小計	255					

(2) 実習

	科目名	時間数	区分	講師(案)	ねらい(案)	内容(案)	教科書
1	先進農家派遣研修	160	有機版で実施	県内有機農業実践者	県内の有機農業経営体で実際の作業を体験することで、有機農業への理解を深める。	実時間で15日間の研修	
2	専攻実習(有機農業)	900	有機版で実施	農大職員及び外部講師	卒業後の自らの経営を見据え、個別管理の施設・ほ場での栽培技術を習得する。		
	小計	1,060					